

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

土の目に見えない力に感謝！

綾瀬市 小林はな子



昨年 9 月から今年 3 月まで、100 坪の畑を借りることができました。草取りに 3 日かけ、手で耕して、数日かかって、種まきをしました。

自然農法勉強会で学んだこと、また子供のころ田畑を耕したことを思い出し、周りで畑をされている方に時期を聞き、ダイコン 120 本、コマツナ、ハクサイ、ニンジンなど、たくさんの種をまきました。すると次の日に雨が降り、自然の恵みに感謝しました。作物は次々芽を出し、土寄せし、毎日見に行くのが楽しみでした。11 月の農産展には、ダイコン、コマツナ、サトイモなど出品できました。

畑は道路に面していましたので、通る方々に「肥やもしないで作るのかい？」と言われました。ダイコンを抜いてさしあげると、「何もなくても肌がきれいだね」と言われました。安心して食べられることをお話ししました。近所の方にも配り、ある重病の方は、このダイコンなら食べられると喜んでくださいました。

主人は高血圧で、糖尿病もあるので、たくさんの自然米と野菜を食べてもらいました。すると、畑を返すころになった今年の 3 月 11 日より下痢が始まり、10 日ほど続きました。そのあとから血圧も 190 / 100 を切るようになりました。現在は 164 / 87 で、頭も痛くないし、めまいもないと言います。足のむくみもたまにしか出ません。不思議でした。主人はインシュリン注射も透析もしていません。土の目に見えない力を見せてもらったようです。この体験を多くの方に知らせてあげたいです。

私も胃が悪いので、吐くことが多いのですが、土にさわるとなぜか楽になります。土の力が畑を耕す人を助けてくれるように思いました。お陰様で、畑を返すことになった 3 月に、また別の畑をお借りすることができました。土に感謝し、作物を育て、ぜひ皆さんに食べていただきたいです。



自然の作物で高熱をのりきった娘！

所沢市 関谷奈津子



2歳になる娘、由梅は、今年1月2日から40 近くの高熱とせきが1週間ほど続きました。歩いたり、踊ったりすることが大好きな子が、せきをしては泣き、ぐったりしていました。もともと小柄で、体重も普通の子に比べたら少ないので、食欲がなくなると、とても心配でした。案の定、食べないのです。おかゆをあげても、せいぜい1口、無理に口に入れるのが精一杯でした。

母が自然のリンゴをすって持ってきてくれました。早速、口に入れてあげたら食べたのです。それも何口も口を大きく開いて！リンゴだったら食べられるのかな？と思い、家に市販のリンゴがあったので、あげてみました。そうしたら、舌で押し出してしまい、食べないのです。今度は自然の市川グループ

のミカンを房のまま何個も食べることができました。

体が弱りきっているときは、市販の物を体が受け付けないことを、子供を見て分かりました。自然の作物の力、パワーを感じました。それから1週間くらいは、自然のほうじ茶と市川グループのミカン、天然の葛湯を食べて、熱を乗り切ることができました。

実は長男も昨年、おう吐と下痢で苦しんで、何も食べられなかったところ、頂いたみかんジュースを飲んだことがきっかけで、食欲が出て回復に向かったことがありました。

これらのことを通して、毎日食事を作る私がおもっと食について考え、興味を持ち、自然の作物を取り入れられる食卓にしていきたいと思いました。

落花生を 22 年連作しています

袖ヶ浦市 鈴木秀可



一昨年から参加している地元の農業経営体育成セミナーで、「土づくりについて」の講義があり、各自の土を持参し、土壌診断をする機会がありました。この日はセミナー生 4 人、担当普及員 1 人、講師の普及員 1 人、そして私の 7 人でした。私は自分の畑から数ヶ所の土を持って行き、以下のような結果が出ました。

	自然年数 / 作物	EC (電気伝導度)	ph (水素イオン指数)
A	22 年 落花生	0.02	6.87
B	2 年 落花生	0.03	5.06

講師の普及員の方より、各場所で作っている作物を聞かれ、私は肥料も農薬も使用せずで作っている作物と、その土の年数を伝えました。「今話題の自然農法ですか。22 年もすごいですね」と言われました。土壌診断は通常、作物を植え付ける前に数値を計り、それをもとに、作る作物に合った土にするために、石灰や肥料を入れる量を決めるそうです。

A は、「とても落花生に合う土の数値ですね」と言われ、びっくりしました。TOREK 自然農法の原理にある通り、土が作物を作っていくことを実感しました。B は、4 年前に母が親戚に頼んで何年も使っていなかった畑、約 300 坪を借り、落花生を始めた所でした。まだ年数が浅いので、講師の普及員に「本当なら石灰を入れたいところだけど、自然農法だからがんばってね」と言われました。

私は、この土壌診断の数値によって、無肥料にすることで、作物に合った土ができることを、その場にいた人たちに伝えられたような気がしてなりません。

実際に食べ比べてみると、はっきり分かるほど、土 22 年の落花生のほうがおいしいです。2 年目の畑も年数を重ねることによって、味も良くなり、土も落花生に合っていくのかどうか楽しみです。

< 普及員の見解 >

EC (電気伝導度) は、硝酸態窒素と関連しています。落花生のようなマメ科植物の根には根瘤菌が共生し、空気中の窒素を固定して植物に供給するので、EC が 0.02 と低くても大丈夫です。

一方、ph (土壌酸度) は、A 圃場が 6.87 とほぼ中性なのに対して B 圃場は 5.06 とかなり酸性です。土が酸性になると、その他の肥料分や微量元素が流亡(りゅうぼう)してしまいます。

これらの点から考え、22 年間無施肥無農薬栽培で落花生を連作している A 圃場は、継続 2 年の B 圃場より明らかに落花生の生育に適合していると言えます。



特に無施肥の落花生の根には、たくさんの根瘤菌がつく

* 5 月中旬からが落花生の種まきの時期です。とれたての落花生をゆでると最高においしいです。皆様も試してみませんか。

おしらせ



自然農法頒布会 6 月 13 日(土) 東中野会場 10:00 ~ 15:00 (売切次第終了)
6 月 24 日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00 ~ 15:00 "
7 月 17 日(金) " 10:30 ~ 15:00 "
自然農法勉強会 5 月 27 日(水) 昼の部 10:30 ~ 夜の部 19:00 ~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

5 月 3 日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産: 納豆、黒豆の水煮、きなこ、きのこめし
市川生産グループ: 煎茶、みかんジュース(ビン入り・コップ売り)
中島農園: ミズフキ、ウド、コゴミ、ミツバ
長柄山自然農園: 卵 飯塚農園: 白米、みそ(500g 1,100円)
よしたい農園: 白米 富田善嗣さん: 白米
ジョリフィーユ: シュークリーム、カスタードプリン、マドレーヌ



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp